■谷口吉郎　　モダニズム建築家で，文人建築家。幾多の"碑"もデザイン，「博物館明治村」を構想して，初代館長になった。
たにぐちよしろう
日露戦争始・1904＝　　金沢市で，九谷焼の窯元の家に生まれる。
日露戦争終・1905＝ 1歳：

明治天皇没・1912＝ 8歳：
大正政変・・1913＝ 9歳：

石川県立第二中学校，
原敬首相暗殺1921＝17歳：
水平社結成・1922＝18歳：

第四高等学校を経て，

共産党事件・1928＝24歳：東京帝国大学建築学科卒業して，大学院に進む。「分離派批判」，
世界恐慌・・1929＝25歳：東京工業大学講師。「コルを掴む」「建築は口ではない」など，当時の過激な運動に注意を促す文を書き，
海軍軍縮条約1930＝26歳：早くも{思想}に「ル・コルビュジェ検討」を執筆。_東京工業大学助教授に就任。
満州事変・・1931＝27歳：
五一五事件・1932＝28歳：*「東京工業大学水力実験室(現存せず)」で，モダニズム建築家として登場，

芥川直木賞始1935＝31歳：「自邸」。_軽快でオープン，極めてモダンな「慶應義塾幼稚舎」(DOCOMOMO JAPAN 選定)，
二二六事件・1936＝32歳：_{思想}の"ヒューマニズム"特集号には，田辺元，三木清，和辻哲郎らと並んで，「機械建築の内省」を執筆，その後も，{改造}{文藝}など左翼的な雑誌，{公論}など右翼的雑誌のいずれにも執筆するなど，他の建築家には見られない文人のレベルで，幅広さと中庸性も際立っている。
日中戦争始・1937＝33歳：長男吉生が誕生。
健保+総動員 1938＝34歳：_「慶應義塾大学日吉寄宿舎」(DOCOMOMO JAPAN 選定)も，まさに，モダニズム建築。駐独日本大使館新築の一環として日本庭園造園のためベルリン出張するも，
第二次大戦始1939＝35歳：_ナチス政権の只中にあって，得るところなく，帰国，
大政翼賛会・1940＝36歳：
日米開戦・・1941＝37歳：この年，_「鹿鳴館」が，広大な敷地を遊ばしておくのは勿体ないと，取り壊されることが話題になり，{東京日日新聞}に「明治の哀惜」というタイトルで記事を寄せ，第四高等学校からの親友で，名古屋鉄道に勤める土川元夫と共感，戦後になって，「明治村」として，具体化する。
・・・・・・1942＝38歳：_「建造物に作用する風圧の研究」で，日本建築学会学術賞，
創価学会検挙1943＝39歳：_そのまま学位論文となって，東京工業大学より，工学博士号。教授，
敗戦・・・・1945＝41歳：敗戦前後もまた，とくに変化が見られないほどの，中庸性，
新憲法施行・1947＝43歳：中津川の_「藤村記念堂」(DOCOMOMO JAPAN 選定)，
三大事件・・1949＝45歳：*「慶應義塾大学第3校舎・大学学生ホール(現存せず)」で，日本建築学会賞作品賞，
独立回復・・1951＝47歳：「慶應義塾大学第2研究室(新萬來舎)」。_門司手向山公園の「佐々木小次郎の碑」など"碑"設計者でもあり，
ﾒｰﾃﾞｰ事件・ 1952＝48歳：「石川県繊維会館(現：西町教育研修館)，

国連加盟・・1956＝52歳：_「秩父セメント第2工場」で，日本建築学会賞作品賞，

ｲﾝｽﾀﾝﾄﾗｰﾒﾝ・1958＝54歳：小諸の「藤村記念館」，盛岡の「原敬記念館」，_東京工業大学創立70周年記念講堂(DOCOMOMO JAPAN 選定)，
美智子妃・・1959＝55歳：「石川県美術館(現：石川県立伝統産業工芸館)」_「千鳥ヶ淵戦没者墓苑」とその「慰霊碑」，
安保闘争・・1960＝56歳：福岡県若松の「火野葦平文学碑」，_「東宮御所」の設計と，
ｲﾀｲｲﾀｲ病始・1961＝57歳：「青森県庁」。_その他の業績により，日本芸術院賞。土川が名古屋鉄道社長になったことから，
全国総合計画1962＝58歳：「文京区立鴎外記念本郷図書館」「ホテルオークラ東京本館メインロビー(現存せず)」。_歴史的価値がありながら，開発等で無くなる建物を譲受けて移築し，その修復・保存に努めるための財団法人が設立されて，「明治村」が具体化，名鉄が用地の寄付をはじめ財政面で全面的に支援して，
東京ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ 1964＝60歳：吉生が，ハーバード大学建築学科大学院修了。「名古屋大学古川図書館(現：記念館)」，
大学紛争始・1965＝61歳：東大の丹下研究室で研鑽。渋谷の「乗泉寺」，出雲崎の「良寛記念館」。*定年退官と合わせるように，犬山市の入鹿池のほとりに，オープンした「博物館明治村」の初代館長になった。
いざなぎ景気1966＝62歳：「帝国劇場(ロビー・客席)」「山種美術館(現存せず)」「出光美術館」。_{谷口吉郎建築設計研究所}を主宰，
美濃部都知事1967＝63歳：上山の「斎藤茂吉記念館」，「名鉄バスターミナルビル」，
霞ヶ関ﾋﾞﾙ・ 1968＝64歳：_「東京国立博物館東洋館」，
全共闘ﾋﾟｰｸ・1969＝65歳：_「東京国立近代美術館」，
ﾄﾞﾙｼｮｯｸ・・ 1971＝67歳：「八王子乗泉寺霊園」，_「硫黄島戦没者の碑」，
石油ショック1973＝69歳：_文化勲章。「比島戦没者の碑」，
角栄金脈辞任1974＝70歳：「雪あかり日記」出版。「迎賓館和風別館」「日本学士院会館」「国立飛鳥資料館」，_「中部太平洋戦没者の碑」，

田中角栄逮捕1976＝72歳：青梅の_「吉川英治記念館」，

成田衝突・・1978＝74歳：青梅の「栗本図書館」，瀬戸の「愛知県陶磁資料館」
革新大敗北・1979＝75歳：*「沖縄戦没者慰霊碑」に至るまで，生涯を通じて"慰霊碑"だけでなく，多くの著名な文学者らの詩碑，文学碑，墓碑，記念碑を，74も設計して，没した。
没後，「せせらぎ日記」が出版された。後を継いだ吉生により，「金沢市立玉川図書館」は共同設計になり，吉生はまた，代表的モダニズム建築家になって行く。

Wikipedia，吉田鋼市「日本の初期モダニズム建築家」，